

## 平成30年第1回木島平村教育委員会定例会会議録

1 開催日時 平成30年1月24日(水) 14:30~15:58

2 場 所 木島平村役場 議員控室

3 出 席 教 育 長 小林 弘  
同職務代理者 佐藤 秀雄  
委 員 本山三智子  
委 員 池田 剛

4 欠 席 委 員 山崎 麻紀

5 出席した事務局職員

子育て支援課長 山寄 真澄

1 開 会 午後2時30分

2 前回会議録朗読承認（署名）

平成29年12月20日開催の平成29年第12回木島平村教育委員会定例会会議録並びに平成30年1月4日開催の平成30年木島平村教育委員会第1回臨時会会議録を山寄子育て支援課長が朗読し、出席委員全員が内容を確認のうえ、全員が承認し署名した。

3 教育長報告

- (1) おひさま保育園園児及び木島平小中学校児童生徒のインフルエンザ罹患状況について、木島平中学校生徒が出場した長野県中学校スキー大会結果等について報告した。
- (2) 木島平村教育委員会人権推進室で平成29年度実施してきた各種事業について、「平成29年度木島平村人権センター事業実績報告書」「平成29年度木島平村雪ん子人権子ども会推進委員会活動報告」「平成29年度木島平村人権教育総合推進事業報告書」により報告した。
- (3) 1月市町村教育委員会連絡会の際に示された資料に基づき要旨を資料1（非違行為の根絶、学校運営のまとめの時期と新年度に向けて、教職員の業務改善・働き方改革の推進他）により報告した。

4 協 議

- (1) 平成30年度予算要求の概要について

小林教育長

(1) 平成30年度予算要求の概要について説明をお願いします。

○説 明

山寄課長

先ほど教育長から学校教育、社会教育ともにと話がありました中で大変申し訳ありませんが、主に学校教育の関係、子育て支援課の関係になりますがお願いいたします。資料2をお願いいたします。教育委員会平成30年度当初予算(案)要求概要であり

ます。この新年度予算の要求につきましては昨年12月22日、財政担当課へ提出してあります。そして財政担当課のヒアリングを経て本日1月24日から2月5日にかけて理事者査定が行われます。そして理事者査定に基づきまして減額や時には増額があったりする中で新年度予算案、議案として3月議会に提案上程されるというような手付きになっております。本日お示ししているこの資料につきましては、教育委員会担当課の方で財政担当課に予算要求したものでありまして、これからというようなものでありますが、こういうものを要求したということをお願いしたいということでもあります。

#### ○資料2に基づき説明

このように予算要求をあげております。特に学校教育現場、小・中学校からの要求につきましてはできるだけと思っております。だいたい増額になっております。これから財政担当課でどんな具合になって行くか、そしてこの後、本日から理事者査定ということでもあります。できれば全部認めていただきたい訳ですが、村の財政状況もありますので分かりませんが、このように要求をあげておりますのでよろしくお願いいたします。

#### ○質 疑

小林教育長

来年度予算の概算要求ということでもあります。何かご質問がありましたらお願いいたします。

池田委員

木島平型教育づくり事業で減額の要求がされていますが、村の総合計画では木島平型教育の充実が載っていたと思うのですが、この辺りの事情について教えていただきたい。

山寄課長

一番大きいのは八丈島海の体験学習で、参加する小学5年生の児童数が少ないということでもあります。前年度は249万円だったのが176万円ということで70万円落ちているということでもあります。

小林教育長

よろしいですか。

池田委員

はい。

小林教育長

ほかにいかがでしょう。どんなことでもよろしいです。

佐藤委員

2点お願いします。

1点目。児童クラブ運営費。以前の所が8放課後子ども教室推進事業、昨年が5,646千円です。それで今年度は別な形で児童クラブが812万円。それから子ども教室推進事業が1,013千円ですか。合わせると結構な金額ですけど、これは実は今までやっていたのが要するに放課後子ども教室というのと児童クラブというのが合体したような形でやっていたのは事実なんです。それを予算上切り離した形でこうなっていると。そうすると前よりだいぶ増額です。合わせれば。それでこれは先ほど言われたように5,6年生の学習支援と。その中身が入ってきているからなんです。

山寄課長

放課後子ども教室の推進事業5,646千円ですが、これは昨年度の当初予算でありまして、それが実際のところ8,126千円が増えていきますという話ですが、これにつきましては今年当初予算に補正をしています。というのは、今まで山寄先生、学習指導員の内川先生の立場の方について、社会保険料を掛けていなかったということでもあります。細かいことを申し上げますと山寄先生は2年が過ぎまして3年目となり、自分で国保に入らなければならなくなったということで、今は月収9万円程で社保に入れるように制度が変わりましたので、本人にお聞きしたところ入りたいと。内川さんも今まで国保だったのですが入りたいと。村で半分掛金を負担しますので。その辺のところが増えたというのが大きな第1点です。そしてもう一つが、その他の小林先生や阿部先生の賃金の単価が安いということがありまして、新年度は時間給を増額しています。これが認められるかどうかは分かりませんが、ずっと据え置きみたいになっておりますので上げさせていただいた。その辺のところが大いということでもあります。

佐藤委員 学習支援をする講師を2人入れているという話とは関係ないのですか。

山寄課長 今、子ども教室のところで試行的に武田さんとシオン・ウィリーさん。武田さんは算数教室、英会話についてはシオン・ウィリーさんをお願いしているのですが、それは試行的に子ども教室の中で行っております。こちらの考え方とすると、この次は議会からの話もあるのですが、だれでも参加できるようにということで、子ども教室にかかわらず公募をして行いたいということになります。講師につきましてはこれからです。

佐藤委員 101万というのは、そういう中身を含んで講師の謝礼といたしますか、そういったものを含めて本来は子ども教室だけで学習支援するものではなくて学校全体から公募して支援するのが当たり前なのですが、そこへ移行していきたいというそういう考えでいいですね。

山寄課長 そうということです。村長から公営塾という話がありまして、そこまで行くかはまだ分からないのですが、その辺のところも睨んでいるということでもあります。ただ最初の年なのでどうなるか分からないので、出だしはこの位の予算額でということになります。

佐藤委員 その中身はわかりました。1点いいですか。

小林教育長 どうぞ。

佐藤委員 小学校、中学校ともICT環境整備とありますけれども、大分予算的に大きいわけですが、これはWi-Fiと機器ですか。

山寄課長 これはWi-Fiです。

佐藤委員 Wi-Fiの環境整備ですか。いわゆる電子黒板とかああいうものではない。

山寄課長                    そうです。次の年にそういう電子黒板、タブレットを予定しています。

佐藤委員                    この予算はW i - F i 環境ですね。そうですか。

山寄課長                    結局W i - F i がないとタブレットが使えない。電子黒板も無理だと。まず最初にW i - F i を整備する。村の方では、できれば補助を使ってやりたいということで、総務省の防災関係で補助がありまして、今金額の比較を行っているところですが、できれば村では補助を使ってやりたいという。補助を使うとするとW i - F i 単独でやった方が良く。まず1年目は無線の整備をして、次の年に機器を整備すると期限までには揃うということになります。

佐藤委員                    補助金というのは期限がある訳ですか。

山寄課長                    そうです。

佐藤委員                    そこに合わせて。現場の校長先生たちからも小学校1年生でも黒板に字を書いて何かやっているじゃないかというような情報がありまして、もう少し機器的なものも充実させていってもらえれば良いなというような要望もあったもので、ここに盛り込んでいるなど思ったものですから。ありがとうございます。

小林教育長                今、このICTにつきましては、木島平がこの周辺で一番遅れているんですね。中野市、山ノ内、野沢温泉。かなり進んでいる訳で、やはりこういう教育機器を使った学習改善、子どもたちの質の向上というか、そういうのを非常に一生懸命やっているわけで、機器いわゆるパソコンとかタブレットとか取り外しのできるということになると1年先にいってしまおうと。他の方は既にそれを使った授業をやっているということで、これは早急にやっていかなくてはいけないところかなというふうに思います。やっと手がつきはじめたというところ。かなり金額的な問題もありますので一気にという訳にはいかないのです。すべて子どもたち

のためということでできるだけ早く、そしてまた先生方もこういう機器を使つての授業の改善ができていけば非常に良いと思っております。

ほかにいかがでしょう。

池田委員

生涯学習の方になってしまうのでわかる範囲でよいのですが、公民館費の3成人式が減額になっているのですが、たぶん人数とかそういったこともあると思うんですが、今年度の成人式の時に成人のみなさんに村の米と水で作ったお酒を差し入れしようかと有志の動きがありました。限られたお金でありますけれども、そういったようなことも使い道として視野に入れることが可能かどうか。そんなような動きがあったということだけお聞きいただければと思います。

もう1点ですが、9中町展示館管理費ですけれども、文化とか芸術の各市町村の拠点みたいなのがあるのですが、木島平で言えば中町展示館がそれに代わるのかなというふうに感じるんですが、その中で減額要求の理由について分かれば教えて欲しいのですが。

山寄課長

また確認したいと思いますが、去年の当初予算ではシルバー人材センターに委託するような予算だったと思うのですが、そういうのを止めたということでこうなっていると思います。

小林教育長

成人式の方は要望ということでよろしいですか。

池田委員

要望というかそういう動きがあったということで。

小林教育長

ここで検討するわけにはいかないのが要望があったということで。また生涯学習課の方で成人式のそういう声とかそういうものは把握しておりますので、次年度に活かすというようなことを考えていると思います。

他にどうでしょうか。よろしいでしょうか。本山委員さん、どんなことでもいいですが何かありますでしょうか。

本山委員

自分が今関わっているところで言うと、子育て支援室ですが、

他所の様子が分からなくて独断に走りがちなので研修の機会を得たいという話が、関わっている3人のスタッフの中で出ています。お金に関わらずそういう機会に出て、少しでも子供たちに還元できる形にしていきたいというそんな気持ちがあります。この予算とは直接関わらないかもしれないですけど。

小林教育長

わかりました。

他によろしいですか。それでは以上、協議（1）を終わりにします。

## （2）行事等の共催後援の承認について

小林教育長

（2）行事等の共催後援の承認について、①から③まで通してお願いします。

○説 明

山崎課長

それでは資料3をお願いします。

○資料3を朗読

① 後援申請

催事名称 「チェロとピアノのコンサート-喜びの音-

申請者 木島平アート部

代表者 上埜 暁子

日時 平成30年3月21日（水）

13：30～16：00

場所 ホテルシュエネスベルク



② 後援申請

事業等の名称 平和のつどい

申請者 飯山・栄母親連絡会

岸田 さと子

期日 平成30年3月4日(日)

場所 飯山市文化交流館「なちゅら」

③ 後援申請

事業の名称 第21回中高飯水ソフトバレーボール交流会

申請者 中高飯水ソフトボール連盟

会長 小林 茂幸

期日 平成30年3月4日(日) 8時より

場所 中野市民体育館

以上3点ありますが後援可否についてご協議をお願いしたいと思えます。

申請のあった①②③について後援することでいかがか。

○出席者全員が後援することについて承認した。

(3) その他 (特に無し)

## 5 報告

### (1) 保育園及び小中学校の状況

山寄子育て支援課長が、資料4に基づき保育園及び小中学校の状況について報告した。

(2) その他 (特に無し)

## 6 その他

### (1) 当面の日程（諸行事・会議等）

山崎子育て支援課長が、当面する諸行事・会議等について説明した。

山崎子育て支援課長が、平成30年第2回教育委員会の開催日程について提案した。出席全委員が了承し、「平成30年第2回教育委員会を平成30年2月21日（水）午後3時30分から」開催することに決定した。

### (2) その他

山崎子育て支援課長が、資料5により栄村教育委員会から報告のあった栄村教育委員会の構成について説明する。

## 7 閉 会 午後3時58分

小林教育長が閉会を宣した。